



第66号



発行/社会福祉法人 素心会
責任者/事務局長 高瀬 尚人
〒259 - 0103
神奈川県中郡大磯町虫窪 39 番地 1
TEL. 0463 - 71 - 1255
レイアウト・印刷 貴峯荘ワークピア

海外研修

2019 年度ソウェルクラブ海外研修 (児童・障害福祉コース) 報告

素心学院支援課課長代理 川崎太一



フランクフルト



ハイデルベルグ



アムステルダム

2019年度ソウェルクラブ海外研修Aコース(児童・障害福祉)に参加させていただいた。今回の行き先はドイツ・オランダで、ドイツはフランクフルトとハイデルベルグ、オランダはアムステルダムの市内視察と児童及び福祉施設の視察を行ってきた。10月23日から30日の8日間の日程で行われ、参加者は北は茨城から南は九州宮崎までで、障害福祉関連が9名、児童福祉関連が10名の延べ19名であった。

行きのフライトは12時間。羽田空港よりエールフランスにてパリのシャルル・ド・ゴール空港で乗継ぎを行ないフランクフルトへ。帰りはアムステルダムのスキポール空港よりKLMオランダ航空の直行便で11時間ほどであった。海外研修に参加させていただくことが決まってから気がかりであった10時間を超えるフライト。過去の経験から心配していたがネックピロー、耳栓、アイマスク、スリッパなど、快適に過ごせるように万全の準備をした甲斐もあり往路復路ともにあっという間であった。

フランクフルトはヨーロッパ経済の中心と言われており、ドイツ銀行をはじめ大銀行の本社などドイツ国内では珍しい高層ビルが立ち並んでいた。その一方でオペラハウスなどの歴史的建造物もあり、近代的建築と歴史的建築の融合を感じさせる街並みであった。制限速度無制限の高速道路アウトバーンをバスで走行した際は追い越し車線を走行する車のスピードがとてかく速く驚きとともに恐怖も感じた。

アムステルダムは空港に降り立った時からとなく雑多で賑やかな印象を受け、その独特な雰囲気を感じる事ができた。市内には運河が広がり、運河沿いにはアムステルダム特有の間口の狭い住宅が立ち並ぶ。間口の幅によって税金が変わってくるとのこと。景観や古い建物を大切にしているということが一目でわかる街並みで建物や人など、どこを見ても洗練されている。

そしん



KITA

ておしゃれであるという印象を持った。

① KITAトラウムパウム

フランクフルト北部リードベルク地区に2015年7月にオープンした託児施設。「成長の場所」をモットーに国籍・宗教・人種・社会的地位・身体的、精神的な健康状態の一切に関わらず、強さと能力の発達と開かれた世界を目指し子どもやその家族をサポートしている。散歩などの園外活動ではリスクマネージメントとして反射板のついた黄色い蛍光色のベストの着用が園児に義務づけられていました。この対応については素心学院においても例えば道普請などの屋外活動時に活用できると思った。

② アトリエイストエンド

フランクフルト中心部にほど



アトリエイストエンド



デラクール保育園

近いオスレント地区に2012年にオープンした障害者援助施設。アート作品の制作を主にしており障害は精神・身体・知的問わず、主に授産施設などに行くと難しい方を対象としている。施設は街中のマンションの1階に構えており、施設内に入るとスタッフの他に数名の利用者が出迎えてくれた。施設内は利用者が製作した絵画・陶芸・オブジェなど様々な素晴らしい

アート作品で溢れており親しみと温もりを感じた。

③ ヒューマンカインド・デ・ク

ラール保育園

1983年開設の35年以上にわたる経験を持つ、オランダで最大の非営利保育・開発団体。教育ビジョンは人道的価値観に基づき、あらゆる子どもにとっての最適な成長と開花を目指している。その信条のもとオランダ国内450ヶ所以上の拠点で現在約4000人のスタッフが従事している。

この施設で日本との違いを強く感じたことは、子どもの成長・発達を促すうえで自由を与えて本人の意志を尊重しているという点だ。例えば日本の保育園では昼寝の時間が決まっているが、一人ひとりのリズムに合わせて本人のタイミングで寝かせているということであった。おもちゃについても最初から遊び方を教えずに、自由に手にとり遊ぶことがいろいろな発見につながることで、またトラブルが起きにくいように豊富に用意されていた。

④ オーガニックファーム・パラ

デイス

2006年に設立された社会福祉と農業を統合したオランダ



オーガニックファーム

のケアファーム(*)。キリスト教の考えをベースに認知症の高齢者や自閉症の青少年・身体・精神障害を持つ人々が野菜の栽培・家畜の餌やりなどの農作業とカウンセリングを通して健康的で自立した生活を送る支援をしている。農業専門・介護専門・ボランティア・研修生がこれらの活動を支援している。
(*) 認知症や精神疾患・発達障害を抱える人・精神的ケアを必要とする子どもたちなどに農場での作業を通じたデイサービスを提供する農場。
20年前には約75ヶ所であったケアファームだが、その後急速に数が増え現在オランダ国内に約1400のケアファームが設立されている。

機械操作などその人にあつた作業を提供しており、できる部分を伸ばして自信を持てるようにすることを大事にしていた。今回の研修では障害関連施設の他に両国の保育園も視察させていただいた。様々な場面で驚き・発見・共感・疑問・違和感など肌で感じる事ができたが、どの施設視察の場面においても感じたのはスタッフの思い・気持ちだったように思う。仕事(利用者・園児)に対する思い・視察に訪れた私たちに伝えようとする思い。制度・環境・ノウハウ・スキルも重要だが、思いや気持ちを強く持ち仕事に向き合うことを大切にしていきたいと思える研修となった。

これまで素心会では積極的に海外研修に職員を派遣しているが、このような機会を与えていただき貴重な経験をさせてもらえることは非常にありがたいことだと強く感じた。またそれと同時にこれからも継続していただき、ほかの職員にも経験してほしいと思った。ありがとうございました。



素心デイセンター



地域支援センターそしん

心創展を振り返って

素心学院 支援二課長 磯崎ひでみ



素心デイセンター・地域支援センターそしん



素心学院・素心デイセンター・地域支援センターそしん合作

ございました。作品を創った利用者やご家族の方たちは、笑顔多く楽しんで観覧してくださいました。じっくりと見ていられる方が多く、「作品の発想が素晴らしい、色使いが素敵」や「すごいなあ、楽しそうだな」と思い、集中力やパワーを感じます」などのお言葉を頂きました。観覧に来てくださった方々の温かいお言葉を聞くと、この心創展を開催できたことに喜びを感じます。また来年も利用者それぞれ感性のまま創られていく作品を思うと今から楽しみです。

2019年10月30日から11月2日まで平塚美術館市民アートギャラリーで心創展を開催することができました。今年度は「令和」をテーマに合作や作品作りに取り組んできました。合作のベースとなるものに利用者の手形を用いて下地を作りました。赤や青・ピンクなどカラフルな手形がとももきれいに仕上がりました。また合作は、はがき大の台紙様々な素材を使い作品を仕上げていきました。サインペンでちよんちよんと書いて仕上げる方、丁寧に色を重ねる方、異素材をのせていく方など個性あふれる作品が展示されました。また合作以外での作品は絵画・書道・工作など思い思いの表現をし、素敵な作品があふれていました。まだまだ無限の可能性があるので心から思いました。心創展には今年も多くの方々が見に来てく



素心学院

そしん

地域支援センターそしん 写真館

地域支援課 課長代理 大野 裕史



今回は、昨年の主な催しについてご紹介したいと思います。生活介護事業では10月10日(木)から一泊の予定で山梨県河口湖方面への旅行を実施しました。一日目は温泉と夜の宴会を楽しみ、二日目はあいにくの雨模様でしたが、河口湖音楽と森の美術館にて素敵なコンサートを満喫し、富士急ハイランド内のレストランでコースメニューのランチを頂きました。

また、11月には、再整備された素心デイセンターのグラウンドを利用して、生活介護事業と放課後等デイサービスのバーベキューをそれぞれ実施しました。ご家族と保護者の方にもご協力いただき、大変充実した一日となったのではないかと思います。



放課後等デイサービスの皆さんは、食後にレクリエーションを楽しみました。



ご家族の方も一緒に焼きそばを調理しました。



乾杯で夜の宴会が始まりました。(一泊旅行)



生活介護の皆さんも秋のイベントを満喫しました。



二日目は素敵な演奏に出会えました。(一泊旅行)

家族ペンリポート

素心学院



村出 富夫
村出 君子(母)

富夫は今から46年前未熟児で生まれました。体も弱く3歳までの命といわれた事もありましたが、幼稚園に行くころには少しずつ元気になりました。小学校は地域の学校、中、高校は湘南養護学校に通う事になりました。お友達も毎日楽しくその内一人で家からバス、電車、バス通学出来るようになりなりました。

高校3年生の時素心学院に実習に行きまして卒業後お願いすることになりました。慣れるまで大磯駅まで送りあとバスで行ってましたが、そのうち富夫の様子が変わり外で突然動かなくなったり、大きな声で怒鳴り学院内でも続いていました。それからは、いろんなことがありました。その都度一時入所したり職員の方達には本当に助けて頂きながら来ました。そのうち、学院の方から入所のお話がありました。そして家族共話しお願いする事になりました。

親としては富夫の気持ちの方が分かってあげられないのが一番辛かったです。今はとても穏やかに過ごせるようになりました。

富夫の楽しみは小さい頃から音楽が好きで学院でもコンサートがあれば連れて行ってもらっていますし家でもチケットが手に入ったときは行けるようにしています。

週末帰宅も楽しみに待っていますし帰院するときなども帰ると言って喜んで戻って行きます。富夫がここまで、穏やかにになりましたのも職員の皆さんのおかげだと感謝しております。これからもよろしくお願ひいたします。





素心デイセンター 災害復旧 (擁壁・グラウンド等改修) 工事について

素心デイセンター 所長
小野田 俊樹

平成30年3月9日、100ミリを超える記録的な大雨によって素心デイセンター北側斜面が30メートルにわたって崩落しました。その土砂の重みにより擁壁に亀裂が入り押し出され、土砂の一部がグラウンドに流れ出しました。また、擁壁近くに駐車してあったマイクログラスの後部に瓦礫が直撃してリアガラスを破損するという二次災害までも引き起こし、自然災害の恐ろしさを改めて痛感する出来事となりました。幸いにも活動前の時間に発生したため利用者はじめ人的被害はありませんでした。しかし、フェンスの設置や工事車両の出入り等で多くの方々にご不便、ご迷惑をおかけしました。

早々に擁壁ならびにグラウンド等改修工事の準備のため、4月専門家に依頼し擁壁周辺の地質調査や測量が始まりました。5月構造計算を実施した上で、擁壁修復図面が3案提示され、検討した結果壊れた古い擁壁の前に新しい擁壁を作り擁壁を補強する案がもっとも強度があり短期間で工事がすむという結論になりました。次に水はけの悪いグラウンドを駐車場含め改修するために、グラウンドの測量が9月から10月にかけて行なわれ、測量結果をもとにグラウンドの勾配の調整、排水口や側溝の整備などを加え、素心デイセンター災害復旧（擁壁・グラウンド等

改修）工事全体の図面が完成したのです。

平成31年4月に一般競争入札が実施され、その結果「増田工業株式会社」と契約することになりました。

工事は5月20日から開始され、まず5月23日、24日にグラウンド整備のために素心会のシンボルでもあったグラウンドの大きなヒマラヤ杉を伐採しました。高く伸びたヒマラヤ杉が強風などで倒れた場合のことを考えると伐採もやむを得ませんでした。長さ





助成金について

素心デイセンター災害復旧（擁壁・グラウンド等改修）工事を行なうにあたり、神奈川県共同募金会より助成金400万円をいただきました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

に渡り素心会を見守っていた木々が伐採されるのは少々複雑な思いがしましたが、結果として日当たりや見晴らしも良くなり新たなデイセンターの未来を予感させていると思えました。続いて擁壁工事が始まりました。利用者さんは工事期間も通所されるため、災害時すぐに設置したフェンスを使用し安全面に十分配慮して行なわれ、事故などのトラブル等は一切なく順調に工事が進みました。

場がアスファルトに変わり、中央に排水溝も配置されてその心配も必要無くなりました。自然災害による事故から約1年半の歳月をかけて新たに生まれ変わったグラウンドや芝生エリアでは、既にデイセンターの「秋のレクリエーション大会」や地域支援センターそしんの「バーベキュー大会」が行なわれました。



虫窪24番地



家のおすぐ近くを流れている金目川。川幅が広く、水量も少ない穏やかな川も台風や集中豪雨の時には川幅いっぱいが増水した泥水が枝葉や流木と共にすごい勢いで流れる。「大丈夫だろう」と思いながらも水位が気になって2階の窓から何度も川の様子を見てしまう。今ではネットのライブ画像で川の状況を確認することができ、やはり自分の目で確かめないと安心できない。近年の雨の降り方は異常である。各地で被害に遭われた方々は「こんな初めて」と話され、何十年に一度の大雨とニュースは伝えている。被災地と同じ大雨が降ったら我が家も浸水してしまっただろう。地震もいつ起こるか分からない。「備えあれば憂いなし」。災害に備えて最低限の物を準備しておくことが、その備蓄品を使わずに済むことを願いながら。

地域支援センターそしん
地域生活課 穂山千恵美

後援会会員募集

会費の納入先

銀行振込は 中南信用金庫国府支店 014-0139723
郵便振替はどこの郵便局でも 00270-0-19507です。
口座名は 社会福祉法人素心会後援会 会長 鈴野七郎
※新しく会員になる方は
ご住所を電話等でお知らせいただくようお願いいたします。
事務局 〒259-0103 神奈川県中郡大磯町虫窪 39-1
素心会後援会 TEL.0463-71-1255 FAX.0463-73-0009



URL
<http://sosinkai.jp>